

聖徳学園シリーズコンサート NO.1623

第31回 聖徳学園

ベートーヴェン

歌劇「フィデリオ」序曲 作品72c

交響曲 第9番 ニ短調 作品125「合唱付」

第九の夕べ

指揮：山本 真
管弦楽：東京交響楽団
ソプラノ：島崎 智子
アルト：伊原 直子
テノール：望月 哲也
バリトン：甲斐 栄次郎
合唱：聖徳学園“第九”合唱団
(合唱指導：春日 保人)
日本声楽家協会

2014年 12/9 火

PM6：15開演

聖徳大学川並香順記念講堂

■主催：聖徳大学 ■入場整理券：¥1,000

■問い合わせ：聖徳大学教務課音楽グループ Tel.047-365-1111 (大代)

聖徳学園シリーズコンサート (会場：聖徳大学川並香順記念講堂)

山本 真 (指揮者)



1948年広島生まれ。14歳よりホルンを始める。
 1966年東京藝術大学入学。ホルンを谷中甚作氏に師事。
 1969年在学中に日本フィルハーモニー交響楽団に入団。
 同年、東京藝術大学において安宅賞受賞。
 1970年東京藝術大学卒業。
 1973年日本フィルハーモニー交響楽団退団。同年、東京藝術大学管弦楽学部講師。
 1974年NHK交響楽団入団。
 1981年父・故山本正人指揮 東京吹奏楽団第35回定期演奏会を父が急病のため、代わりに指揮を務める。これをきっかけに吹奏楽の指揮者としての活動をはじめ。
 1984年カラヤン指揮、ベルリンフィルハーモニー交響楽団東京公演参加。
 1997年デュトワ指揮モントリオール交響楽団日本公演全5回参加。FMリサイタル、テレビリサイタルに出演する等、ホルン奏者として活躍する傍ら、父の後を継いで、父が初めて日本に作った吹奏楽バンド「聖徳レディーズウインドオーケストラ」の指揮をする。
 2004年3月不動の2ndホルンとして30年在籍したNHK交響楽団を退団。
 現在、聖徳大学音楽学部演奏学科教授。武蔵野音楽大学講師として後進の指導にあたっている。他、近年では、多摩ウインドオーケストラ、日本各地の吹奏楽バンドを指導、指揮するなど、指揮者としての活動にも大いに力を尽くしている。2005年～2013年聖徳大学シリーズコンサート「第九の夕べ」指揮。

国際ホルン協会会員。日本ホルン協会会員。

島崎 智子 (ソプラノ)



東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修了。
 二期会オペラスタジオ研究生修了時に川崎静子賞(最優秀賞)を受賞。文化庁オペラ研修所第6期生修了。文化庁派遣の芸術家在外研修員として、ミラノに留学。ヴェルディ国際コンクール入選。「蝶々夫人」のタイトルロールでは、これまでに二期会、日生劇場、オーチャードホール・オペラ、フィンランドのサヴォンリンナ・オペラフェスティバル等に出演。またモーツァルトのオペラにおけるリリコの役を数多く演じ、安定した歌唱力と演技で内外の指揮者や演出家より信頼をおかれている。
 聖徳大学音楽学部演奏学科教授、東京藝術大学非常勤講師、日本声楽アカデミー会員、二期会会員。

伊原 直子 (アルト)



東京藝術大学及び同大学院修了。69年「ラインの黄金」でオペラデビュー。安宅賞、芸術選奨文部大臣新人賞、外国人批評家賞、ジローオペラ大賞受賞。ミュンヘン音楽大学に政府給費生として留学。ドイツ、スイスでコンサート活動。75年ストラスブール歌劇場専属歌手となる。リヨン、ブリュッセル、カールスルーエ歌劇場客演。「カルメン」「オルフェオ」「アイダ」「トロヴァトーレ」等オペラ出演。コンサートではボストン交響楽団、N響、読響等国内外で活躍。
 聖徳大学音楽学部演奏学科教授、東京藝術大学名誉教授。二期会、日本声楽アカデミー会員。日本演奏連盟常任理事。

望月 哲也 (テノール)



東京藝術大学及び同大学院修了。二期会オペラスタジオ修了。文化庁新進芸術家海外留学制度研修員としてウィーンに留学。
 近年では二期会とハンブルク国立歌劇場の共同制作《皇帝ティトの慈悲》タイトルロールの他、《カプリッチョ》、《ラ・ボエム》等に出演。いずれも高評を得る。今シーズンも《タンホイザー》《魔笛》《夜又が池》(世界初演)と新国立劇場への客演が続いている。宗教曲の分野でも《マタイ受難曲》をはじめ、そのレパートリーは30作品以上にも渡る。
 鈴木寛一、アリゴ・ポーラ、エルンスト・ヘフリガー、ワルター・モーアの各氏に師事。
 二期会会員。聖徳大学音楽学部演奏学科講師。

甲斐 栄次郎 (バリトン)

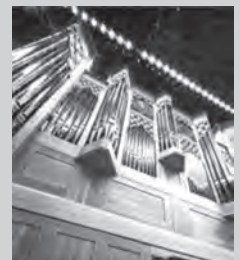


東京藝術大学卒業、同大学院修了。ニューヨークとボローニャで研鑽を積む。2003年、ウィーン国立歌劇場にデビュー後、10年間に渡り同歌劇場の専属ソリスト歌手として活躍。エディタ・グルベローヴァとの共演で、歌唱、演技共に高い評価を得たノッティンガム公爵(ロベルト・デヴェリュー)をはじめ、エンリーコ、ベルコレ、シャープレス、マルチェッロ、レスコー等、イタリア・オペラ作品のプリモ・バリトン役において特に高い評価を得ている。国内では、オペラ出演の傍ら「第九」や「ドイツ・レクイエム」等のソリストとしても活躍。
 聖徳大学客員教授。東京藝術大学准教授。二期会会員。

聖徳大学川並香順記念講堂



聖徳大学川並香順記念講堂は、創立者の川並香順・孝子両先生を記念して昭和55年11月に建設されたものです。
 最高度の音響・照明機能・舞台機構を備えた約1,400名収容のホールで、クラシック音楽を中心とした多目的かつ技術的に高度な利用ができるよう設計されています。さらにオランダ・フレントロップ社製のパイプオルガン(56ストップ)が舞台中央の奥にあり、演奏目的に応じて前後に移動できる、世界でも大変珍しい機構をもっています。また特筆すべきことは、美術家であり聖徳大学短期大学教授であった故利根山光人先生と、彫刻家の多田美波先生が講堂各所の壁画、緞帳、照明器具・シャンデリア等のデザイン・制作をしたことです。なお2面の緞帳は、昭和56年度の吉田五十八賞(建設関連部門)を受賞した作品です。



会場案内

～松戸駅東口より徒歩5分～

交通案内

一松戸駅には一

- ・JR常磐線「上野駅」から約20分
- ・千代田線「西日暮里駅」から19分
- ・京成バス「市川駅」から約35分
- ・新京成線「津田沼駅」から50分

